



報要問週

復辟と巡閱使

互に相聯繫するの問題也

復辟説の起る所以は屢報せし如く
 思想より云へば、支那大多數國民の
 「天地君師親」を潜在我せざる後
 による、形勢より云へば、時局行
 詰まり奈何ともするなく大多數國民
 の思想を後盾として轉圜せんとす
 るより起るに由る、籍口主義より云
 へば、一方の督軍官僚が他方のソレを
 陥れる爲め及び政客が世を攪亂し
 以て活路を求むる爲めの理由に本づ
 きて起るに由る、尤も復辟謠言發生
 に就き、一部には國民の頭腦に未
 だ共和思想の印入せず、政治亦不
 なれば弱點に乘じて、或は復辟を自
 論むものあり、或は之に藉口して世
 を攪亂するものあるに由る、故に此
 際教育を盛んにせざるべからずと云
 ふものあれども、其教育が何時行は
 るや尚ほ不明なるは勿論なれども
 ソレよりも、教育は人を啓蒙せざる
 ものなる以上、支那從來の儒教を根
 本として、君主立憲を立つるの外な
 し其之を爲すには先づ第一に着手す
 べしは復辟に在り、此復辟成らざる
 ば統一成らず、統一成らずんば教育
 立たず、今の道を以て進めば教育は
 進むより遅く一方なり、教育を頼み
 て復辟を防止すと云ふか如き輩は
 未だ輿に道を適くばらざるなり、
 即ち支那の儒教は他教を包容するあ
 りて、天地の化育を賛ぐるものにして
 大中正の義を以て極を立つること
 が、教育の基礎なることを未だ知ら
 ざるが爲めなり、支那に教育を云ふ
 は、今日の共和を以てしては、瓦を

磨きて鏡を求むると異ならず、安ん
 ぞ其本に反らざる故に復辟は支那思
 想と形勢と視て早晚免るべからざる
 運命を有するものにして、支那人士
 が彼此云ふは復辟によりて食途を失
 ふが爲めなり此食途を失ふ者四億萬
 人中幾分に當るか、思ふて此に至れ
 ば支那に共和を持続せしめんとする
 ものは眞に支那を愛せず、否ん支那
 を弱めるものなり、尤も現支那政府
 公然復辟謠言を禁止したるにあらず
 や云ふものあれども、政府の舉措
 何の信用がある、陽に之を云ふて
 陰に之を謀るものに過ぎず、到底當
 りにすべからざるなり、ソレはソレ
 として、復辟謠言に關する命令及び
 之に對する上海の輿論を紹介し、進
 んで復辟の前提と稱せられ懸案
 とされる蘇皖贛巡閱使問題に移らん
 べし

(一)
 復辟謠言禁止令出でざる以前張作
 霖が辨明電報を發したることは已に
 前號に於て紹介せるが、其後張作霖
 は、米支新聞記者マジョー氏に對し
 三月二十七日奉天に於て左の如く語
 り

余は毫も復辟を主張したることな
 し余は深く信ず支那の今日能く帝
 國を再興して統治し得る者一人も
 なかるべし、支那の必敗豈く智者を
 俟て之を知らんや、外間類に傳
 へたる復辟の志あり或は君面を挾
 みて天下に號令せんとしつゝあり
 余の今尙兵を外家に進めざる所以
 軍事上に深く考ふ所あればなり、
 其間毫も政治的作用なし、政府に

余の愚昧なる固より自ら帝制を稱
 するの用に足らざるのみならず亦帝
 王政の用にも足らず支那は久しく
 患難に罹り國中最高智識の所有
 者をして國事を主持せしむるを要
 す、昔の當國者は皆凡流人物なり
 き今日は大才に非ざれば狂瀾を
 挽けず其手に非らざるなり
 余の冀望只國內の和平と人民の
 富潤とに在り、之に對して余は何
 も物をも犠牲にするを吝まざるべし
 現今南方日に漸く勢を失し終に必
 らず中央に歸附すべきは疑を容れ
 ざる也、支那の大を以てして事變
 の起亦免れ難き所なるも各省の
 相分離するが如きは不可なり
 全は無教育なり、故に政務の處理
 常に不便を感ず、外間余の教育反
 對に不便を感ずるも自己の無教育
 對云々を云ふ者あるも余の無教育
 に反對するの理あらんや、余は深
 く信ず國民にして苟も教育あらば
 國事總ての事皆能く之を爲し得べ
 し

余は心中何等の陰謀的意思なし、
 余は専心中央の擁護に従事す、政
 府の命する所余之に従はざるなし
 余の軍隊は唯だ政府擁護の用たる
 を知る、余無識と雖民意に逆て政
 柄を執るも必らず持久し能はざる
 也

余と曹錕とは至し親密なり且つ兒
 女の姻親あり、亦何かを曹氏の勢
 力に忌む所あらんや外間言あり、
 曹氏作霖の援軍遠征の途に上れる
 際之に乗じて政權を攫奪せんとし
 作霖之を懼れて敢て援軍を護せ
 ずと甚しき誤言と謂ふべし

余の今尙兵を外家に進めざる所以
 軍事上に深く考ふ所あればなり、
 其間毫も政治的作用なし、政府に

して余に出動を命じ兵餉彈藥を齊
 備せば余は必らず出征せん徒に不
 整の師を以て遠征に就かんよりは
 寧ろ進まざるに如かず、外間亦言
 ありて曰く、作霖ウランゲルと
 謀故に庫倫の變坐視して顧みずと
 殊に無稽と云ふべし、余の謀を與
 みに余と支那の二字あるはさる
 關係あり余は極めて外國人の扶助
 と忠告を歓迎す、余は外國人を
 敬し外資の支那發展を喜ぶ云々
 張作霖の此語あると共に、本月二
 日に至り、徐世昌は明白に復辟謠
 言を發表したり、即ち左の如し

國體の定議は載せて約法に在り國
 憲を紊亂せば律常刑あり乃ち近日
 外に復辟謠言騰んに報章に載し異
 竟に傳播謠言騰んに報章に載し異
 外に復辟謠言騰んに報章に載し異
 外に復辟謠言騰んに報章に載し異

夫れ復辟説につきは、策士梁士
 詒が靳內閣を取りて之に代り、財政
 難を外に仰ぎて活路を求むること、
 難を前に仰ぎて活路を求むること、
 難を前に仰ぎて活路を求むること、
 難を前に仰ぎて活路を求むること、

上海出帆

鳳陽丸 郵船棧橋ヨリ發
 襄陽丸 郵船棧橋ヨリ發
 蕪陽丸 郵船棧橋ヨリ發
 岳陽丸 郵船棧橋ヨリ發
 瑞陽丸 郵船棧橋ヨリ發
 大陽丸 郵船棧橋ヨリ發
 大貞丸 郵船棧橋ヨリ發

上海支店

上海廣東路支店及去號
 電話 浦東棧橋 四七四
 電話 監督 一八七四

漢口宜昌線 一ヶ月六回
 漢口湘潭線 一週二回
 漢口常德線 一週二回
 九江南昌線 一週三回

三菱公司 礦物分析所

上海廣東路九號

石炭 製紙 電銅 鑄物 鑄山 鑄分 鑄調

六五三三〇四九二〇二九一

客觀的事實に對して之を或は之を蔑視し、或は強いて之を已に從はしめんとし、其事業上に於ても又學問上に於ても事々皆然らざるはなく、其時に觸起せる所以を以てし、其建實の基礎を樹立する能はざる所以亦之が爲めなり、此點新學僞經考を讀みて以て見るべきなり

有爲の第二の著に曰く孔子改制考第三の著は大同書なり新學僞經考を以て風風に比せば後の二書は大噴火なり、大地震なり有爲の公羊を治むるや、大地義義の節に斷つたららず、專ら其書大義を求め、何れの所謂非常異義可怪之論に對し、春秋は孔子の改制創作の書なりとし、文字は其符號たるに過ぎず、猶電報の暗號樂譜の音符の如きものにして口授するに非らざれば之を明らかにする能はずと謂へり、又春秋のみならず、凡そ六經は皆何れも孔子の所作にして昔人の孔子の刪述なりと謂へるは誤てり、孔子は自ら一宗旨を立てて之に據りて以て古人を進退し古書を取らせり、孔子の改制は常に古之を託し、堯舜なる者は孔子所託の人物にして其人の有無は知る可らず、經典中に於ける堯舜の盛徳大業は皆孔子の理想の上に構成されたるものなり、又孔子のみならず、周秦諸子皆改制せざるはなく、託古に非らずはなし、老子の黃帝に託せる、墨子の大禹に託せる、許衍の神農に託せる、皆是れなりと謂へり、近人何休を祖述して公羊を治むる者劉逢祿、自陳立等諸儒の如き皆改制を説くもの有爲の所説は之と異り、有爲の所謂改制なるものは一種の政治革命社會改造の意味に外ならず故に喜んで通三統を説き、三統なるものは夏商周三代同じからず、隨時に改めたるものなりと謂ひ、又喜んで張三世

を説き、三世なるものは亂世、升平世、太平世に緣て愈々改めて愈々進むものなりと謂へり、有爲の政治上の變法維新の主張實に茲に基く、有爲又孔子の改制は上百世を掩ひ、下百世を掩ふと謂ひ、之を尊んで教主と歐洲の景教を尊ぶを誤解して強の基とせり、故に常に孔子を基督に比せんとし識練の言を離引して以て之を實にせんとせり、於是有爲心目中孔子は又帶びて顯る神秘性あり、孔子改制考の内容は大略上述の如くにして其思想に及ぼせる影響は一古書を讀むに諸章句訓詁名物制度の末を索めず、其義理を求めしむ所謂義理なり、は又言心性に非らず、乃ち古人創法立制の精意なり、於是漢學宋學は皆其吐棄する所にして學界に別一新殖民地を開けり

二孔子の大なる所以を以て新學派を建設して人の創作精神を鼓舞するに在りとし

三僞經考は諸經の大部分を劉歆の僞造なりとし、改制考に亦諸僞傳の一部分を劉歆の僞託なりとし、更に眞經の全部は孔子託古の作なりとせざるが故に數千年來神聖不可觸るを發生せしめ、學者の撰本的に疑問を發生せしめ、疑批評的態度を引起せり

四極力孔子を推したる、孔子の創學派は諸子の創學派と動機を一にし、目的を一にし、手段を一にせり、孔子は之に依り諸子の列に置かれたり、所謂黑白諸子の別の觀念にして全然解放に出で學者を比較研究に導きたり

康となし、太平世を大同となせり禮運の言に曰く

大道之行也、天下爲公、選賢與能、講信修睦、故人不獨親其親、不獨子其子、使老有所歸、壯有所用、幼有所長、饑寒孤獨、廢疾者皆有所養、男有婦、女有歸、貨惡其棄於地也、不必藏諸己、力惡其不出於身也、不必爲己、是謂大同

今日の語を以て此一段を釋明せば

「天下爲公、選賢與能」は民治主義なり、「講信修睦」は國際聯合主義なり、「故人不獨親其親、不獨子其子」は兒童教育主義なり、「使老有所歸」は廢疾者皆有所養なり、「貨惡其棄於地也、不爲己」は勞動神聖主義なり、有爲は之を以て孔子の理想社會制度にして、春秋の所謂大同世なるものは即ち是れなりとせり、今茲に其條理を延釋せば左の如し

一國家なく、全世界をして一總政府の下に置き、更に若干區政府を分設す

二總政府及區政府は何れも民選です

三家族なく、男女の同棲は一年を逾ゆるを得ず、期至れば各々易ゆるを要す

四妊婦は胎教院に入れ、産兒は育嬰院に入る

五兒童は其年齡に按じて養養院及各級學校に入る

六成年後は政府指令の下に農工等生產業に就かしむ

七病者は養病院に入り、老者は養老院に入る

八脂教等諸院は各區最高の設備をなす

九院者は最高級の卒業を得

十公共宿舍公共食堂を設け、等級を附し、各人其勞働所得を以て自由に享用せしむ

十一懶惰者には最嚴の刑罰を課す

十二學術上の新發明をなせる者及胎教等諸院に特別功勞ある者は獎賞す

十三死せば火葬に附し火葬場附近に肥料工場を設く(未完)

右の兩書は就れも有爲の舊學整理の作にして其自筆の創作に係るものは大同書なり、有爲初め朱次琦に學ぶ業を畢へる、又退思西樵山に獨する者二年、沈思考天人至極の理を窮め、一學派を創立して以て經世の用に充てんと欲せり、即ち春秋三世の義を以て禮運を説き、升平世を小

那支時事日誌

(金)

四月一日 (金)

▲英國は英より購入の飛機機は契約違反として抗議せり

▲湖北選舉は行儀多かり

▲モロコフは議院の復讐を計る勢、庫倫に保皇機關を設けたり

▲外安機關は庫倫運動の爲の支那政府に向つて警告を發し、同地在留の外人保護を請求せり

▲本日閣議を開き復讐諸議者を擯するに決せり

▲本日新聞記者メンは復讐説を確むべく奉天に赴き張に質問せり

▲關稅剩餘金を就く廣東軍政府は外交團に通告を發すべし

▲日本政府は新報關係文書を本日發表

▲本日出發せし王耀華は山東問題提出は時機にあらずと語れり

▲本日重慶發電に曰く藍天蔚は自殺せり

四月二日 (土)

▲本日各省自治聯合會開かれ王王耀華の巡閱使職を政府に要求するに決せり

▲廣東長春開の飛機は一回文許許可せる

▲政委員會成立す

▲各省自由借款を禁す

▲廣東女子參政權否決せる朱執信暗殺者銃殺す

▲在米來人一部はメチアンス氏を米國へ使に推す

▲本日ローリーは韓東政府の宣言書を外交部に渡り

▲蘇社事務所は三省巡閱使職を電請せり

▲浙江の守り破れんとすの報あり

四月三日 (日)

▲本日復讐諸議令出づ

▲支那復讐團は政府協助の爲め復讐方法の確定と輿論の攻撃を受けざるを快つて協助することあり

▲交通大學は北京唐山上海の三個所に置く

▲四月四日 (月)

▲晉豫計畫の三省大學は七月初旬開港となるべし

▲陸運道は條件付にて王巡閱使の下下に賛す

▲國務院は本日福建浙江江西湖北等の各省に選舉再延期す様言明せる通電を發したり

▲各界聯合會は代表四人を府院に派し發業を突き止め期限を定めて回答せんことを請へり

▲新報急電によれば露人千餘人は一城に侵入せり

▲曹錕は米人スミス氏と直隸銀行組織計畫中

▲廣東省州人は軍政府に打電して軍政府の兵に蹂躪することを願はし、佛國領に於て亦抗にす

▲上海華商華人會は同會章程第六條を取消すに決せり

▲江蘇教育會等六團體は巡閱使職を電請せり

▲貴州は王文華の死により再臨の兆あり

四月五日 (火)

▲重慶自治聯合會成立す

▲漢口駐在の湖北日本留學出身者を招請せり

▲天津外交部は新報記者の不品行を駁す

▲清河口日借債借款契約なるもの發表せり

▲張作霖は依然控軍を肯んせり

▲新報記者は張勳の入京を拒みたり

▲奉天王占元の護衛隊解散につき抗議せり

▲奉天二回會議あり清室より人も派すべし

四月六日 (水)

▲日本は歐米に於て支那の財政監督を鼓吹しつたりとて人民を慮却せりとの電報を載す

▲政府は韓都王を五日退京せしめ阿拉汗に赴かし

▲内債整理方法公布せり

▲政府は巴黎交通會議支那代表者に鐵道建設借款にも共同會議を願はざる旨提議すべしと電請せり

▲粵漢運河の南段は測量を了

▲要求中央は許す意あり

▲王四無黨の請願困難あり

▲支那無黨の請願困難あり

▲王巡閱使選擧尙早と云ふ

▲出陣は選擧尙早と云ふ

四月七日 (木)

▲財政部の公債司は本日政務委員會に表を送附

▲滬漢運河は辭表を呈し

▲周自齊は七日請願を提出す

▲孫文は七日請願を提出す

▲廣東深衣は戒嚴令を布す

▲孫文は憲兵隊に在りて議員に決心を求め正式政府の成立を望み、對外國反感熱を吐露せり

▲上海輿論は孫の總統選擧に就き冷淡にして見做しに類す

▲張作霖は上海の攻撃に對し余は中央の命令あり軍政を渡せば直ちに征蒙の渡に就べしと電請せり

▲本日復讐團に於て裁兵議案を開きたれど結果なく支那復讐團の裁兵案に困せり

▲參議院は内蒙古に外人遊歷を停止し外商の蒙古官、宣教師の關口出入の際検査すべき旨通告せり

機械材料、文房具販賣

掘井騰寫版、文具、印刷機械、印刷インキ、自轉車、護謨及製品、車輛、金庫、紙、藥品、雜穀、肥料、鑽石

上海河南路七七七八 電話(中央)參參〇〇

上海海南路七七七八 電話(中央)參參〇〇

支店 漢口、天津、京城

Shanghai Press, Ltd. 上海印刷株式會社

電話 北 路 二 三 九 六 三 〇 二 號

印刷、製本及紙器製造

印刷、製本及紙器製造

藍司令部の公債抵當問題

海軍藍總司令は海軍部を経て敗戦部に向つて公債票中交兩銀行抵當として現金を受け取りしことは二月十九日海軍部が其後除くことによれば海軍司令部は所轄各隊の不渡給與費に數月及び昨年藍氏は北京に赴き要する所ありしは財政部に現金を爲す公債票三百萬元を受け取り中交兩銀行に抵當とせる外商銀行に抵當借せり然るに如何なる譯か公債の番號が政府公報に出でざる爲か

葡商銀行は效力を發生する能はずとして再三催促するに藍總司令は藍氏に呼出されたり其後同氏は一面海軍部に電呈し一面自ら福建に歸りたり薩海軍總長は接電後財政部に向つて要求せり云ふも如何になりにしや尙は不明なり

渡米絲業團の調査報告

支那絲業團代表李君登魁、廠長代表吳申伯は過日紐約より報告を送りしが其内容は米國の觀望されるを爲し戰後佛伊兩國の絹絲輸出少なきを頗る日本絹絲の多量輸出となりし糧食缺乏桑田の余地なしと米商は深く支那の種桑推廣と工作改良を欲し居れりとし廠長張絲七厘絲等に關し一々詳細に報告せるものなり

共產黨印刷品の査禁

上海護軍使は内務部よりの通達に接するに其の内容は共產黨印刷品に關することにして廣東陳某より北京後門松公府夾道七號張風院宛として多數の印刷品を寄せたり言語悉く労働者を教唆し大局を擾亂するものなり故に嚴しく取締りて亂扇を豫防すべしとあり

羊毛と米國

近來歐米く本市市場は支那原料に對する需要多くなり就中羊毛は最も活躍し始めたり上海某洋行の海外來電によれば米國議院は四月十一日開會の時に一種の羊毛輸入制限法を提議されたり之が爲め各洋行は禁令實行さ

產業革命印刷

上海護軍使署は過激黨防止の爲め印刷品の郵便物を嚴査し來りしが七日又政府より訓令を受けたり内容は現在廣東地方に人あり労働者を煽動する爲め產業革命等の傳單を郵送するものあり嚴査すべしと云ふにあり

豐盛實業公司內容

上海豐盛實業公司是盛澤承、孫資

金陵遊記 (三) (榮輝載)

王者、國を經す。德に在りて險に在らず。五霸力を奮ふに及びて、山河の險、金湯の固に據る。秦漢北に在り、力能く塞外を制し、而して江淮を壓す。地の利を得れば、漢業、已に衰へ、吳晉以下、蜀を江左に在り、地勢東南に傾く。未だ代に九州の外を包擧するに足らざるなり。予金陵の諸山を陟降して六代治亂の迹を覽、又宋元明清、建都の蹟を考へ、而して詳かに歷朝經國の規模を察するを得たり。吳晉以下、蜀を江左に争ふ者は區區として江岸培塿の地を争へり。統天御寓の大業竟に江北の地に及ぶ能はざる所以なり。何んぞ其の塞上萬里の外に振ふ能はざるを怪まん。然る所以の者は地氣之れを然らしむる有り。然りと雖も其の本を推すと、また未だ始めより、一代豪傑、其人無きに由らずんばあらず今世、方鎮割據の勢を持して各星野を分てり、民の之れを苦しむ者一旦夕に匪す。建國創業の時運に際して、經國の規模、なほ勝朝に及ばざる者有り。勢已に此の如し。支那の前途も亦岌岌乎として殆矣。今世の力を方面に奮ふ者、何爲れを少しく區夏を統合して漢業を恢宏する所以を思はざる

岳陽

農工商礦各事業を補助するを以て宗旨とす其營業目的は(一)各種農工商實業(二)各種農工商銀行及電氣事業の補助或は信託農工商銀行(三)各種の債券を經募し或は承募(四)輸出事業を經營す(五)各種金融及土地業を爲す(六)其他前列各種支關聯する義務(上海各事業若し主管部或は地方官の許可を經すべき者は隨時呈請す)

第一條 本公司は豐盛實業株式有限

公司と稱す本公司は依り農商部に登録を呈請す

海州開港問題

政府は己に張謇を吳淞商埠督辦せるが海州商埠開港に就ても依然考慮中なり海州開港は事必行にあり目下正に之を工面し居れり執事は開港に就き經驗あり若し倭教あらば珠玉を吝むなく討議に便せられ度しと打電せり

漢字新聞論調

△虎心病狂(中華新報) 張勳は虎心病狂は張勳の起用して外務省に在る張勳を禁政せずは清帝の遺詔に於て元兇其た多し張勳後張勳すべしもの今に存積す諸言を以て息ん

△時局絶望(神州時報) (四、七)

今日の時局に絶望なり財政と邊防の事内政と皆絕望にして全國を無政府の状態に陥れしは今日之中國は一線の生なし

△東亞新聞大會(同上)

日本今日之東亞新聞大會に就き上海報界は疑多し支那は日本新聞に組織せられし支那も亦日本を組織し可ならずや日支は總交せず外交云はざるべからず日本が官報せば支那も官報し可なり及び一方見れば日本支那支那善を云ふはあり日本の改造を促すに足る日本の凡ゆる事情を國人に運達するに進んで吾人の爲すべき所なり弊記者が新聞大會に派せしも此意味なり日本方面は第二大會を支那に於て開かんと思ふに日本記者をして驚かしむる所なるべからず

△國會は何の時事(四八)

西洋に國會あるは第三階級の需用に依り日本が國會の習儀なくして運用宜きを得たりは武人にとりて聯合して運用第三級に類するに由る然るに支那は舊國會一種の勢力に壓迫されし由る其後遺は空中に懸る新國會に至りては武人の代表機關のみ此の意味に於て議決は問題とならず吾人は國會自身に目を致さず國外以外に社會的階級に對して自覺努力を在るに在り然れども亦一朝一夕に成らず國會は即ち大早計なり

△非常總統(中華新報) (九)

孫氏の總統被選は時局に影響すといふよりは孫個人に影響す蓋し此れ孫の爲め權柄一握なるが如きが故なり其の權柄は之を失せり廣東の兩省を領するに其結果あるは時至らば公申報略に於ては驚戦中にも兵士を以てせず申報略に於ては驚戦中にも兵士を以てせず申報略に於ては驚戦中にも兵士を以てせず

△今度の國民日報(同上)

眞理は行動の民國民日報(同上) 眞理は行動の民國民日報(同上) 眞理は行動の民國民日報(同上)

政府は己に張謇を吳淞商埠督辦せるが海州商埠開港に就ても依然考慮中なり海州開港は事必行にあり目下正に之を工面し居れり執事は開港に就き經驗あり若し倭教あらば珠玉を吝むなく討議に便せられ度しと打電せり

EKC 兒玉貿易商行
上海英租界滄源路八號
電話一八〇三番

肥料、雜穀、羊毛、羊皮、豚毛、牛骨、油脂、イタヤ、類、護謄製品、毛糸、晒粉、酸類、セロル、ド、板、玻璃製品、縫紉、電氣器具其他

支店 東京日本橋區通町參番地
同 鹿兒島市洲崎町參番地
同 漢口英租界楊子街廿一號
代理店 內外護謄合資會社楊子街一號
一手販 南海晒粉株式會社(福印) 賣店

EI-KWA & CO. 瀛華洋行
上海江西路十八號
電話中央一三〇九

取扱 糞製肥料製油原料
商品 其他一般輸出業

支店 上海、漢口、蕪湖、沙市、宜昌

OZU-BURIN & Co. 武林洋行
上海漢口路九號
電話中央一三五七

營業種目 棉花、綿糸、布、綉紡、料、雜穀、肥料、油、臘、毛、皮革、其他支那天產物等

支店及出張所 東京、橫濱、神戶、漢口、沙市、宜昌、萬縣、重慶、大連、樊城、老河口、鄭州

安部洋行
上海福州路三號
電話 事務所 中二三七
中一四〇八
中一〇〇八
住宅 四九七七

增田屋 安部幸兵衛上海支店

本店 上海福州路三號
出張所 上海、漢口、蕪湖、沙市、宜昌

●佛國の支那絲業

支那絲業代表李君魁は八日佛國里昂より打電せしが其内容に曰く余及吳申伯はリオン支那旅館に在り...

●無錫繭來荷

五日順成鑫により移出無錫にて裝荷百〇九俵重量十餘萬斤なり

●外國爲替

●自前月七日上海の金融及銀紙動向の如し

●和蘭展覽會

農商部は上海總商會に對して和蘭工業展覽會委員より支那の製品を出品せんとすを勸誘せられたるに就き...

●招商局第四十七期結算報告

招商局董事會は其第四十七期結算報告を發表したり、同期一年間の汽船運賃は合計三百八十二萬三千二百餘兩にして...

●麵粉公會の請願

上海機械麵粉公會會長顧履等は收麥は日清戰爭以後賠償金工面上初めとして三ヶ月間徵稅せし以來民國六年に至り...

●新刊紹介

江南の名勝古蹟 池田桃川著

日支の間は日に増し接觸の度を深し、上海は日本の凡ゆる階級の人の必ず通過し、同時に江南の名勝史蹟を探らざるもなし、然るに...

●外國銀行在銀現在高

四月七日 三月廿一日(水) 四月七日(水) 三月廿一日(水)

●上海取引所(四月初九日主)

現物 四月 五月 六月 七月 八月 九月

●公人私人

山崎總領事 五日實任に歸東 松平三郎氏(總支店支店長)會議爲り...

●前週中郵便局銀相場

四月 月日 銀 圓

●編輯餘録

北方は泰直關係に左右せられる外、蒙古問題に於ては、更に財政に苦み、新選挙統一も何れもあつた話でない、外國に相手にせらるゝ支けが強固である、威信なんか更らない、南方は陳孫兩人の内訌で、纏り様がないから轉國に於ては、孫文は返に總統に上り、志は華に在り、孫、議員を懸し、議員に上つた、陳は...

THE KAMIYA TRADING Co., Ltd. 營業種目 棉花、棉系布、雜穀肥料、製油原料、砂糖、機械、雜貨、陶器

C. ITOH & Co. 伊藤洋行 營業種目 輸入 綿糸、綿布、雜貨、金油、機械、染料

中國工商株式會社 營業主目 一般電氣二關スル工事ノ設計及請負、監督、一般電氣及工業ノ經營並ニ之ニ對スル資金ノ直接又ハ間接ノ供給及融通

高麗參丸 朝鮮總督府 賣賣局所管 使用に便 携帶に至便

日華紡織株式會社

事務所—上海四川路五五號
電話(中)二四九九
(中)二四九九
工場—浦東
電話(中)一五八五
(中)一五八五
勞務生路建築工場
電話(中)一九六七

東華紡績株式會社

事務所 上海漢口路A九號
工場 上海華德路八號
電話 東三五四番

申
會社 申亨洋行
電話四三〇〇九

海運業
船務代理
并買賣仲立
一般輸出入
上海江西路五號

線通交捷最絡聯亞歐

◎急行列車ハ最新式ノ一、二等寢臺車及食堂車ヲ聯結致シ居候

○大連長春間急行

大連發	日、水曜日	午後三時二十分
長春發	月、木、金曜日	午後三時十分
滿鮮直通(釜山間)	釜山發	午後七時十分
釜山發	日、水曜日	午後七時十分
安東發	日、水曜日	午後四時四十分
長春發	月、木、金曜日	午後七時十分

○長春大連間急行列車

長春發	月、木、金曜日	午後五時四十五分
大連發	日、水曜日	午前九時
滿鮮直通(釜山間)	釜山發	午後五時四十五分
釜山發	日、水曜日	午前二時二十五分
安東發	日、水曜日	午前六時十分
長春發	月、木、金曜日	午後五時四十五分

◎大連發 急行列車ハ上海着ノ各航路汽船ニ接續致候

航路	船名	大連發	上海着
哈爾濱	寶賓	二十四日	十四時
聖彼得堡	科賓	二十一日	十四時
柏林	保賓	十八日	十四時
倫敦	遠賓	十五日	十四時

鐵道旅館 ヤママトホテル

大連、旅順、奉天、長春ニアリ

大連上海航路
使用船種 丸九
備用船種 丸九
大連發 日、水曜日
上海發 日、水曜日
上海發 日、水曜日
上海發 日、水曜日

撫順 炭
滿洲內地ノ諸都市 大連、營口、旅順、安東、京城、天津、龍口、芝罘、青島、上海、香港、廣東、新嘉坡、馬尼刺、南洋諸島、打狗、浦鹽、其地東洋諸港到ル處ニ販賣ス

社會式株道鐵洲滿南

町樂有區町麴市京東社支 ○ 町園公市連大社本 ○
(MANTETSU) 號畧報電 (番九一二) 連大金貯替振

消化と 仁丹
活動に仁丹 元氣旺盛
食後に仁丹 胃腸快活
煙草に仁丹 一、禁煙

金一最も大なる動體の
後にも最も大なる快
感あり 四感

ニッポンヤント電球
電燈工法最新式
博利安電料公司
電話 中央一〇七

營業 浙江產塗石探掘販賣
科目 一般輸入業
上海四川路八百二十八號

辛酉公司
電話 中三三三三
工場 上海文匯路一八二七

和洋家具類
室內裝飾品類
書畫骨董類
諸物貨賣仲次
電機器具及工事

右十數年の經驗自信に依り大方の貴需に應ず
上海閘行路廿一及廿二號
上海便利社

營業科目
化學用玻璃器、醫藥用瓶其他、玻璃料器一切製造販賣其他一般輸出入業

北福洋行
上海廣東路三十六號
電話 二九八三

本紙定價(前金)
一部 每十五仙
二部 每三十仙
三部 每四十五仙
四部 每六十仙
五部 每七十五仙
六部 每九十仙
七部 每百二十仙
八部 每百五十仙
九部 每百八十仙
十部 每二百一十仙

廣告料
本紙廣告の料金は行數の多少掲載期間の長短に依り特に御相談可致候御用の方は廣告又は(電話)北二五七にて御一報後下度候

發行所 春申社
上海崑山路八八號
電話 北二八五七

國產獎勵
敷島 貳拾三仙
朝日 拾三仙
白梅 拾八拾五仙
サシキ 四拾四仙
アマヤ 六拾五仙
ライオン 五拾六仙
ライト 五拾六仙
ライオン 五拾六仙

東亞煙公司
電話 北一〇五二番
松尾洋行
電話 北三〇五三番
山口商店
電話 北四四九番